



## やまがた

**車の整備はお任せ** 田口 <sup>すぐる</sup> 傑さん(中大池)

村内の株式会社WILLに勤務して5年を迎える田口さん。以前も自動車ディーラーで働いており、この道8年の技術と経験を備え腕に磨きのかかった整備士です。

整備士の中でも最上級となる、1級自動車整備士の資格を持ち、「目に見える故障だけでなく、目に見えない異常を見付けて直し、お客さまが喜んでくれることにやりがいを感じる」と話す姿は、とても頼もしく見えました。

【12月14日 株式会社WILL(小林自動車) 整備工場にて】

働姿



告知板

トレーニングセンター  
体育館屋根改修等工事のお知らせ

以下日程で、体育館屋根の改修等工事を行います。工事中は、体育館外周部や内部ステージ上に足場を組み立てますので、トレーニングセンターご利用のみなさんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

**工事期間** 令和2年1月15日(水)～  
令和2年3月末(予定)

- 注意点**
- ①工事期間中、体育館北側駐車場は工事車両の出入りや現場事務所設置のため、駐車することができません。
  - ②工事開始直後は、足場組立のためトレーニングセンターとグラウンドの間の通路が通行止めとなります。
  - ③体育館東側に設置している自動販売機は、テニスコート東側へ移設する予定です。
  - ④内部ステージ上にも足場を組みますので、体育館ご利用時にはご注意ください。

**問合せ** 山形村教育委員会事務局  
(☎98-3155)

山形保育園環境整備

11月16日(土)、山形保育園にて環境整備が行われ、先生と保護者で普段手の届かない場所を重点的に掃除しました。綺麗になった園舎で、これからも園児たちは快適に過ごして遊べることでしよう。



野沢菜収穫体験

11月24日(日)、観光協会主催の野沢菜収穫体験が開催されました。午前10時・11時の二部ともに多くの申し込みがあり、参加した皆さんは収穫をとても楽しんでいました。

おいしい野沢菜漬けができたらいです。



松本山雅FC  
サッカークリニック

12月7日(土)、サンリンググラウンドにて松本山雅FC主催のサッカークリニックが開催され、山形少年サッカークラブの4年生が参加しました。松本山雅FCのコーチが指導してくれる貴重な機会に、参加している子どもたちは少し緊張した様子でしたが徐々に慣れ、楽しく練習をしました。クリニクの最後には、松本山雅サッカースクールの子ども

しめ縄作り

12月7日(土)、小坂公民館にて子ども会育成会主催のしめ縄講習会が行われました。約30人の子どもたちが、講師の方から作り方を教えてもらいました。上手にできない子には上級生の子が教える姿も見られ、学年を越えた交流にもなりました。

自分たちで作ったしめ縄を飾り、良い年を迎えられそうですね。



もたちとの試合も行われ、サッカーを楽しむ良い時間となりました。



山すそ

あと数日で今年が終わり、この村に来て四回目の新年を迎える。一年を思い返して、後厄だった昨年よりも多くでもないことが多いと感じるのは、年初の開運祈願を疎かにしたせいかもしれない。来年は忘れずに祈禱してもらおう▼今年には館報編集部、地区役員、ソフトボールのチーム代表を担当した。また仕事にも変化があり公私ともにハードな年だったが、それなりの見返りはあったと思う。知り合いが増え、声をかけてもらえることが多くなった。私の人見知りはかなり手強く、時折お会いした方に不快な思いをさせてしまったのは本当に申し訳なく思うが、それでも見捨てずに声をかけてくださった皆さんには感謝の言葉もない▼そういえば館報編集部に入った目的は、知り合いを増やすこと、人見知りを治すことだった。二年半前に蒔いた種がようやく芽を出した感じだろうか？普通の人からすれば亀より遅いと思われはるだろうが、私にとっては大きく掛け替えのない一歩だと思う▼来年も多くの皆さんとご縁がありますように。





### やまのこ保育園 観賞会

12月14日(土)、ミラ・フード館にてやまのこ保育園と松本平の複数の保育園の園児を対象とした観賞会が開催されました。

子どもたちも毎回心待ちにしている公演で、今年もオペラ劇団こんにやく座が来てく

れました。会場いっぱいに集まった観客たちは一緒に歌ったりして楽しんでいました。



### やまのこ保育園

11月17日(日)、やまのこ保育園にて恒例の「やまのこまつり」が、開催されました。

バザーやワークショップなどが行われたり、ピアノとバイオリンの演奏があったりと、多くの家族連れが秋空のなか楽しんでいました。



多くの方でにぎわいました！

ワークショップの様子→



←ピアノとバイオリンの演奏♪

### 山形小学校人権教育

11月22日(金)、山形小学校体育館にて、人権教育講演会が開かれました。講師はボッチャ(パラリンピック正式種目)をやっている高野さん親子で、前半はボッチャの説明やボッチャとの出会いを聞き、後半



講師の高野さん親子

### 3学年防犯教室

11月27日(水)、松本警察署の方をお迎えして防犯教室を行いました。今回のテーマは万引きです。警察官と教師の劇を見たり、自分たちがロールプレイをしたりすることで、自分だつたらどうするかと、考えることができました。万引きは犯罪であること、友だちが万引きをしているときに見張りをしているだけでも同罪であること、犯罪を起こしてしまうと家族や周りの人をとても悲しませ自分もつらい

思いをすることなど学ぶことができました。中学生になっても高校生になっても、大人になっても今日の授業のことを忘れないと、みんなで約束しました。



は児童とボッチャの試合をしました。白熱した試合に児童は大きな歓声を上げて盛り上がっていました。



### 山形保育園焼きいも会

11月15日(金)、山形保育園庭にて、焼きいも会が行われました。園児が育てた大きなさつまいもを切つてアルミホイルで巻き、焚き火に投げ入れ焼けるのを待ちました。しばらくして、焼けた焼きいもを園児たちは美味しそうに頬張っていました。



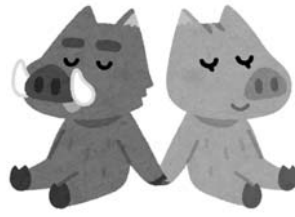
### 1・2学年スケート教室

12月4日(水)、岡谷市の「やまびこスケートの森」でスケート教室が行われました。1年生は初めてスケートを

する子も多く、足をVの字にしてまっすぐ立つことやおしりから転ぶことなど、基本を教わりました。2年生は、基本に加えて、自由滑走の時間もありました。冬のスポーツをたつぷりと楽しむことができました。



# 振り返って 愛にありがとう。



平成が終わり令和の時代が始まった2019年ですが、残すところわずかなりしました。松本山雅FCのJ1挑戦や、ラグビー日本代表の活躍で盛り上がった方も多いのではないのでしょうか？  
猪のように突き進んだであろう1年を7人の方に振り返って頂きました。

ぼくは今年、上大池のお祭りで舞殿に乗り大太鼓をやりました。14曲も曲数があり、最初は覚えきれぬのかとても心配でした。そんな中、練習が始まりました。最初の頃はなかなか音が上手く出なかったり、たたくタイミングを間違えたりしましたが、少しずつ上手く出来るようになりました。1ヶ月毎晩続いた練習も最終日。家族や近所の人、教えてくれていた人たちのためにも本番では上手く打ちたいと思えば思うほど緊張していた時、大太鼓を教えてくれた方が、「合っているから思いつきやればいいんだよ」と声をかけてくれました。ぼくは本番失敗しても思いつきり堂々とやろうと思いましたが、本番はとても楽しくやることができました。

伝統ある地域のお祭りに参加できてとてもいい経験になりました。



堤 来斗  
(上大池)

## 頑張った大太鼓



上條 佳夏  
(中大池)

## 新生活のスタート

今年を振り返ると、一番の出来事は高校生活がスタートしたことです。  
高校入試に向け頑張つて勉強をした結果、志望校に合格することができ、4月から高校生活が始まりました。中学校とは違い勉強も難しく毎日大変ではありますが、部活動などを含め充実した生活が送れていると思います。7月に行われた文化祭では、クラスごとの校内装飾への取り組みや部活での出店など、高校生として初めての文化祭を楽しみました。夏休みには校外研修の「東北スタディツアー」で福島・宮城両県を訪れ、東日本大震災で被災者となった同世代の高校生と交流を行い、震災当時の様子や復興状況の話や話を聞き、改めて震災の大変さを感じました。



堤 明美  
(小坂)

## 出会いに感謝

多くの経験を積み「あつ」と言う間の一年でしたが、毎日駅まで送迎してくれる両親への感謝の気持ちも忘れずに、残りの高校生活を楽しくしたいと思います。

今年の始めに前分館役員より会計を、との依頼がありました。不安もあり迷いましたが、百瀬分館長と子どもの役員を一緒に行った縁もあり引き受けることにしました。

分館長・副分館長、体育部・社会部の部長・部員の方たちと協力してのスポーツ大会や山形じゃんずら、運動会と計画を立てて進めていく過程は大変でもあり、苦労しながらの頑張る姿に私も励まされました。また、村から「山形村男女共同参画推進委員」に任命されました。

分館活動や山形村男女共同参画推進委員の活動を通じて多くのことを学ばせて頂きました。また、分館の役員さんをはじめ他の役職の方々との新しい出会いに感謝しています。分館の会計として後1年の任期がありますが、家族の支えに感謝しながら仲間たちと活動していきたいと思っています。



村瀬 勝之助  
(下大池)

## 繋がりを感じた一年

20代、30代は仕事の関係もあり、村での生活がほとんど送れない日が続きました。  
15年ほど前、父親が病に倒れ村に戻ってきた時、常会・区の役員などはまだまだ父の世代が現役の時代でした。山形に越してこられた世帯を除いては…。

しかし、近年は常会などの役員は私たち世代が中心となりました。そんな中、今年下大池社会部長を仰せつかり、活動をしてきました。何も知らない自分が、とも思いましたが、社会部員や体育部員、そして分館長のお力を借り、何とか今年を乗り切ることが出来ました。話をしたことも無い方とも新たに関係を築くことができ、自分の狭い視野が少しは広がった気がします。

大役はあと1年続きますが父の世代の方々にはまだまだご指南いただき、これからの下大池、さらには山形村が住みやすい村となるよう、尽力したいと思います。



# 2019年を たくさんの思い出

山形村データあれこれ	
人口	8,712人 (65人減)
男	4,306人
女	4,406人
世帯数	3,086世帯
出生数	44人(11人減)
死亡数	90人(9人減)
転入数	298人(23人増)
転出数	308人(60人増)
※カッコ内は昨年同月との比較 (役場住民課調べ、11月末現在)	
村内における人身事故	
負傷者	20件
死亡者	23人
0人	
(松本警察署調べ、11月末現在)	
村内における消防出動	
火災	3件
救急	228件
救助	4件
その他	20件
(松本広域消防局調べ、11月末現在)	

## 2019年を振り返って



上條 五大  
(上竹田)

今年の4月からUターンで神奈川の大学から山形村に帰ってきました。

小学校から大学までゴルフをしてきました。今年からは社会人1年目として仕事を頑張っています。その中で今まで続けてきたゴルフも続けようと思い、競技などに出ながら仕事との両立をしていければ良いと思っています。

今年は、長野県アマチュアゴルフ選手権や、穂高カントリーからグランドチャンピオンゴルフ選手権にも出場しましたが、自分の思ったような成績が出ずにシーズンが終わってしまいました。仕事の方も1年目ということもあり覚えることも沢山あり、とても内容の濃い1年間でした。社会人になり社会での大変さや楽しさなど多くのことを吸収している毎日ですが、ここまで育ててくれた両親に何か恩返しができるようにこれからも日々精進していきます。

## 輝く五月は・・・?



唐沢 育代  
(上竹田)

「平成」から「令和」へと元号の発表があった頃、我が家では、息子夫婦に子供が生まれました。私にとっては『初孫』が誕生したわけで、おまけに初秋には『二世帯同居』ならぬ『四世代同居』が始まった。働くことに精一杯だった私にとつては、新しい命の成長ぶりが新鮮で、息子夫婦の育児を見ているのが楽しく、また慌ただしい1年であった。

そんな1年を振り返り思うことは、いつも頭の片隅にある言葉で、『二月の雪・三月の風・四月の雨が輝く五月を作る』というマザーグースの詩。孫のキラキラした瞳を見てみると、自分にも『緑輝く五月が来た』と勘違いしてしまいたいそうになるが、人生百年時代とも言われていることを思えば、まだ半分ちよつと。今はまず、雨の降った後の「地固め」の時期と戒めながら、小さな生命をできるだけ雨風から守ってあげたい。『緑輝く五月を待ちながら・・・』

## 2019年を振り返り



赤羽 圭介  
(下竹田)

ある著名人の言葉で、20代は走って仕事しろ、30代は歩いて仕事しろ、40代は座って仕事しろ。いつ聞いた・見たのか覚えていないが、社会人になってから頭の中に残っていたフレーズ。

今年40歳の節目で4月に職場の立場が変わり、座って仕事をすることが主となったとき、それをふと思いついた。しかし、その実態は残業代0円、22時付近退社の日々……。精神？がやられず今の自分があるのは妻のお陰、今年には『妻への感謝』が1つ。もう1つは災害。千葉県の友人宅が台風15号で被災し停電。流行のSNSで生々しい実態を知り、次の19号で長野市へ災害応援に行った。現場で被災者の気持ちを肌で感じ、さらにボランティアで来て下さった方々と話をして被災者でないのに目頭が熱くなった。正直、価値観が変わりました。私も『崇高な人間になりたい』と感じた、今年の振り返りでした。

## 今年の重大ニュース

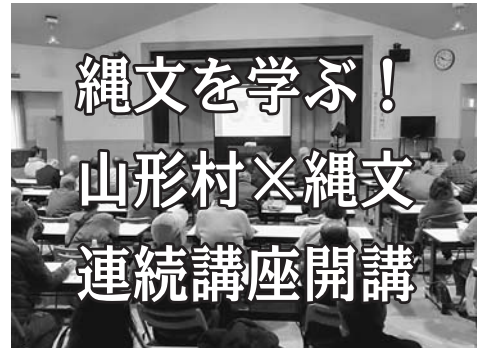
- 1月・吉田沙保里引退
- 大阪なおみ全豪初V
- 2月・北海道で震度6弱
- はやぶさ2リユウグウ着陸
- 3月・イチロー引退
- 4月・新元号発表
- ブラックホール撮影成功
- 5月・令和時代スタート
- 北海道で39.5度を記録
- 6月・新潟で震度6強
- サニブラウン9秒97
- 7月・京都アニメーション放火
- 仁徳天皇陵古墳世界遺産に認定
- 8月・九州大雨警戒レベル5発令
- 渋谷日向子全英オープン優勝
- 9月・御嶽海2度目の優勝
- 高齢者3,588万人突破
- ラグビーW杯日本大会開催 ベスト8進出
- 10月・消費税10%スタート
- 台風19号による大雨被害
- 村内警戒レベル3避難所開設
- 即位礼正殿の儀
- 首里城焼失
- 11月・ローマ教皇が来日
- 12月・流行語大賞「ONITAMA」
- 今年の漢字「令」

せんか？  
せてみま  
思いを馳  
つたのか、  
どんな暮  
の地には  
も前、こ  
何千年



県宝指定土器等展示中です！

12月7日(土)、ミラ・フー  
館にて全4回にわたる「山形  
村×縄文連続講座」が始まり  
ました。第1回目は下竹田在  
住の直井雅尚さんが「松本平  
の縄文時代」について講演し、  
50人以上が集まり大変盛況で  
した。今後は、和田和哉さん  
の「山形村の縄文遺跡」、会田  
進さんの「縄文人は何を食べ  
たか」、赤羽義洋さんの「造形  
の魅力と謎」と講演を予定し  
ています。



# 縄文を学ぶ！ 山形村×縄文 連続講座開講



作り方は沸騰したお湯に赤  
かぶ(王滝かぶ)の茎葉部を  
入れて軽く湯がきます。漬桶  
に「すんきだね」という発酵  
したすんきと湯がいたものを  
交互に漬け込み、2〜3週間  
発酵させて完成となります。  
年末にはおいしい「すんき漬  
け」を堪能できそうです。

## 活き生き熟活動記録

「すんき漬け体験」  
11月27日(水)

「冬の料理作り」  
12月10日(火)



保健福祉課の福岡栄養士を  
講師に迎え、冬の料理作りを  
行いました。  
今回は生姜を使った料理を  
メインに4品作りました。皆  
さん用意された具材を手際よ  
く調理していたので、筆者は手  
伝う隙もなくあつという間に  
4品完成  
しました。  
その後、  
皆さんそ  
ろって、  
おいしく  
いただきました。  
今回の献立  
主食  
・しょうがごはん  
主菜  
・和風ロール白菜  
副菜  
・れんこん団子の  
豆乳みそ汁  
・春菊のナムル



## 上竹田区民の集い

11月17日(日)、上竹田分館バ  
スハイクが実施され、82名の  
参加者が2台のバスに分乗し、  
静岡県三島・沼津への日帰り  
旅行に行きました。当日は秋  
晴れとなり、観光、食事、シ  
ョッピングと思いおもいに旅  
行を楽しみました。また、バ  
スの中ではビンゴゲームが行  
われ、当選者は思わぬお土産  
に笑みがこぼれていました。



## 上大池お元気会

11月24日(日)、上大池コミュ  
ニティーセンターにて上大池  
分館社会部主催のお元気会が  
開かれました。これは分館独  
自の敬老会で毎年開催されて



皆さん元気いっぱいです

います。  
今年簡単なスポーツなど  
で楽しんだ後、食事をしなが  
ら会話を楽しみました。

## 風

(敬称略)

- おめでた(子・親)
- 古田 笑麻・貴志 中大池
  - 宮田 凜空・尚幸 小坂
  - 齊藤 鈴々・弘明・下竹田
  - 桐原 功・91歳・上竹田
  - 降旗 義雄・85歳・下竹田
  - 林 たつ子・93歳・下竹田



### レザークラフト教室

11月13日(水)、トレーニンングセンターにて、レザークラフト講座が開講しました。

全4回の講座で、キーホルダーやコインケースなどの作り方を学びます。

初回のこの日は、道具の使い方や型紙からの写し取り、革の切断、縫い合わせ、磨きなど一通りの工程を学び、時間が伸びてしまいましたがスタートから密度の濃い講座となりました。

参加された方全員が、真剣な眼差しで取り組んでいったのが印象的でした。



### 山形村で「くまの」

12月14日(出)、いちいの里にて社会福祉協議会主催の福祉の集いがありました。山形村で誰もがいきいきと暮らせる社会をテーマに、シンポジウム、もったいない食堂、川柳コンテスト、岩手県物産

展、就労支援事業所製品販売子どもブース、台風19号復興支援バザー、介護浴槽体験会など様々なイベントが組まれ大人から子どもまで多くの人で賑わっていました。



### チャイ講座

12月15日(日)、トレーニンングセンター調理室にて、松本市でインド料理店『DONON食堂印度山』を営むシルプカー・アシシユさんを講師にスパイス入りミルクティー「チャイ」の淹れ方とスナック菓子の「パコラ」作りを学びました。参加者からは「家でもぜひ作りたい」

「今度お店にも行きます」と好評でした。アシシユさんの人柄も人気の一因のようです。



### おやじ塾

11月15日(金)、トレーニンングセンター調理室にて、五平餅作り講座が開催されました。

10月に開講した「おやじ塾」の第1回目の講座で、参加者の1人である吉澤浩志さん(下竹田)が講師になり、五平餅の作り方を学びました。

炊いたお米を潰し、型に入れて固めて餅を作り、そこに刻んだ素材と味噌・砂糖などを混ぜてすり潰した手作りのゆず味噌・くるみ味噌などを塗り、備長炭を使って焼くという、完全に手作りの本格的な「おやじの料理」を楽しんでいました。

焼きあがったばかりの五平餅を試食した参加者の皆さんは、作っていた時の真剣な表情と対照的な笑顔になっていました。



## みんなの人権 ⑧

### “終わりのない旅”～信州・満蒙開拓の史実から学ぶもの



◇「戦の終わりし後(のち)の難(かた)き日々を面(おも)おだやかに開拓者語る」

このお歌(御製歌)は、上皇陛下が、平成28年(2016年)に下伊那郡阿智村の「満蒙開拓平和記念館」を訪れた際の感想を、翌年の年頭に詠まれたものです。このお歌を刻んだ「御製碑(ぎよせいひ)」が、同館前に厳かに建っています。過日、同館の寺沢秀文館長の講演を聴く機会を得ました。◇昭和11年(1936年)から本格化した旧満州国(今の中国東北部)への「満蒙開拓」を抜きにして、長野県の現代史は語れないと言われます。長野県は三万七千八百人を送り出すという、日本一の移民送出県であり、犠牲もまた日本一でした。特に下伊那・飯田地区の人々の犠牲は甚大でした。不況のどん底から、農村更正の一環として、「王道楽土」を夢見て渡満した人々。青少年義勇軍という名で荒野の守りにつき開拓にも携わった青少年たち。そして敗戦末期のソ連軍参戦と逃避行。帰国後の再開拓の苦悩。他方で現地の中国人の人々にとっては半強制的に農地を奪われるという、「被害」と「加害」の両面を持つ重たい現代史。寺沢館長は、その忘れてはならない「終わりのない旅」を、時々ご両親との思い出などを交えながら、丁寧に語って下さいました。◇この現代史の一面に我が身を置かざるを得なかった山形村小坂のTさんは、その思いを、次のように綴っています。「満蒙開拓の真の目的だった開拓食糧増産は何だったのか。開拓農民、青少年義勇隊は共に、日本帝国に日本軍隊に欺かれたのか、その揚げ句、敗戦国危うしと察した軍隊は、多くの婦女子、子供ばかりの開拓民を放置ただいま問題の残留孤児・婦人を残す羽目と相成ったのです。その国策に欺かれた私もその一員でした。帰国後もご多分に洩れず苦勞の連続、他人様には決して自慢できるような青春ではなかったのです。」(山形村史談会 会報92号 H・7・11・30「日中平和友好の碑」)。「村誌 やまがた」には、昭和15年から19年の「山形村義勇隊送出数17人 帰国数10人 死亡及び未帰還数7人(P.60)」と記されています。◇この日の講演会は、「負の歴史を繰り返さないためにも、不都合な史実にも目を背けないこと」の大切さを再認識するひとときになりました。

(令和元年12月 M.H.記)



# 創立42年の集大成 ナイターソフトボール リーグ初優勝



『純』は今年のリーグ戦で初めての優勝。接戦に次ぐ接戦を制して栄冠を勝ち取ることができました。純の前身はソフトボール連盟の歴史と同じで、42年前に北中の常会チームで立ち上げ、その後近隣の常会と一緒に今のチームになり、試合後の飲み会や審判後の飲み会、毎年の旅行と交流を深めています。大変チームワークのいい仲間だそうで、『今後も楽しく試合ができればいいな』と話してくれました。

ま し お  
**上條真志緒さん**  
中大池  
ふたご座



ひろ ゆき  
**宮島寛幸さん**  
上竹田  
中一・みずがめ座

好きなことには  
100%!



動物の看護師の資格を取るために専門学校に通っている真志緒さん。小さい頃から犬や猫と暮らし触れ合ってきた。動物たちから癒しや喜び、命の尊さや大切さを教えてもらったからこそ、看護師になるための勉強を今頑張っているそうです。

「勉強は難しく大変だけど、もつと動物のことを知り、学んでいきたいです」と、話してくれました。

今後は、大型犬や珍しい動物を飼ってみたいそうです。

色々な事に  
チャレンジ!



中学で陸上部に入部した寛幸さん。「中長距離は辛かったり悔しかったりもあるけれど、全部ひたすら走って走ることが楽しい」と話してくれました。ずっと出たいと思っていた駅伝にも出場し、「たすき」を繋ぐことの責任の重さや一人で走る時とは違う喜びがあると知ったそうです。

保育園の頃から宇宙に興味を持ち始め、宇宙博に行ったことがきっかけで、将来はJAXA宇宙航空研究開発機構で、ローバーのような探査機等を造る仕事に就きたいと話してくれました。